

尾崎知事4選不出馬 高知2区自民で国政挑戦

市民と野党の共同で 命と暮らしを守る候補を

●八月末、11月に実施される高知県知事選挙に現職の尾崎知事が不出馬を表明、同時に、次期衆院選挙高知2区から自民党公認で出馬すると表明したことを受け、9月3日、日本共産党高知県委員会は、概略、次のような方針を発表しました。

1、これまでの県知事選

尾崎県政はいわゆる相乗りの「オール与党」県政だが、県民の運動と党県議団の論戦で暮らしを守る施策での後退を押し付けず県民の立場に立った施策を展開。故に、2期目3期目と対立候補を出さずに、論戦と運動で県政の前進を図る立場を取ってきた。

2、尾崎県政評価

地震対策推進、産業政策は内発的發展を重視、医療福祉を雇用面からとらえ重視、低空飛行訓

練やビキニ被災船員救済では国に対して要請など積極面があり評価。

しかし、学力テスト絶対視で競争と管理強化、教員不足で現場多忙化、地方衰退の元凶農産物輸入自由化や暮らし土台破壊の消費税増税など容認し国の悪政と対決できなかった。憲法問題で集团的自衛権一部容認、緊急事態条項創設など安倍改憲策動に迎合。


多数の自民党県議 いいなり県政の危険

3、県知事選について

自民党公認とは国の悪政の流れに身を投じて、二区の野党共闘つづきを狙うもので断固たたかう。後継指名された浜田氏は大阪府副知事時カジノ推進、国保料値上全国一推進、改憲促進立場。しかも、自民党から何度も要請されて決意したと述べており、多数の自民党県議言いなり県政へ逆戻り危険性あり。

日本共産党県委員会は、これまでの県民のたたかい・運動で築いてきた積極面を前進させ、県民を苦しめる悪政と対決する姿勢をしっかりと持った県政へ前進させる決意だ。

ゆえに、この間の市民と野党の共同をさらに発展させる立場にたち、幅広い県民の皆さん、他の野党の皆さんとよく話し合い、共同し、対立候補を立て、全力を尽くす。



**キラリン
にゃんでも通信**

●知事選と市長選
選挙イヤーの今年、その総仕上げが11月24日投票の、高知県知事選と県都高知市の市長選です。埼玉で野党共同知事を誕生させるなど、政治が大きく変わる予兆を感じています。一緒に歴史の歯車を前に進めようではありませんか！●地方議員の実践交流誌「議会と自治体」十月号へ原水禁国際会議での私の発言を基に寄稿依頼。四苦八苦の長月入り。季節は秋。

無料法律・生活相談

- 9月11日(水)午後6時～8時
- 場所：愛宕商店街 吉良事務所
- 相談者：皿田幸憲弁護士(よつば法律事務所)

予約電話：088-823-9524 お気軽にご相談を。